

99 ISM 研究会

日時

11 月 14 日

14 時 30 分

場所

立教大学 5号館

院生控室

教室

テキスト/テーマ

『セーフティネットの政治経済学』

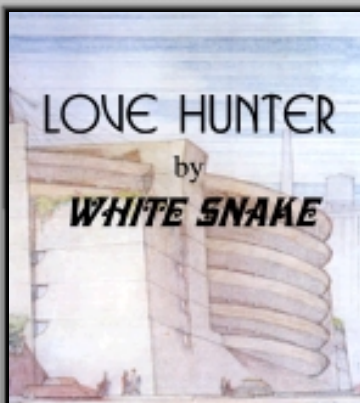
編者/著者

金子勝

出版社

筑摩書房(ちくま新書214)

範囲

プロローグ,
第1~3章

後半期 第2回/通算 第64回

ご案内-詳細

今回から金子勝さんの『セーフティネットの政治経済学』(1999年9月)を読んでいきます。金子さんは最近、盛んに新古典派経済学批判, 市場原理主義批判を行っている財政学者です。この本は, 理論的には, ポランニーの擬制商品論をバックボーンにしており, また, 実践的には, “今回の長期不況から脱出するためには市場の無制限な拡大, 規制の無制限な緩和ではなく, セーフティネットの再構築が必要だ”と主張しているようです。

報告者

人名	割当
窪西 保人・	プロ, 第1章
今井 祐之・	第2, 3章

出欠

 出席 欠席

OK

Cancel

Replace

今回から金子勝さんの『セーフティネットの政治経済学』（金子勝著，筑摩書房，ちくま新書214，1999年9月）を読んでいます。金子さんは最近，盛んに新古典派経済学批判，市場原理主義批判を行っている（もともとは宇野派の）財政学者です。この本は，理論的には，ポランニーの擬制商品論をバックボーンにしているようです（なお，擬制商品論は，労働商品，土地商品，貨幣商品は，本来は商品にはなるべきではないものであり，従って市場の無制限な拡大に対しては抵抗すると主張する理論です。それは宇野理論の一つの側面とマッチしています。宇野理論の労働力商品化論とポランニーの擬制商品論とを統合しようとしたのが玉野井芳郎さんでした）。また，実践的には，この本は，“今回の長期不況から脱出するためには市場の無制限な拡大，規制の無制限な緩和ではなく，セーフティネットの再構築が必要だ”と主張しているようです。

なお，今後のISM研究会は，取り敢えず，――

11月28日（日）

に開催される予定です。みなさん，予定を立てるときには参考にしてください。

ISM研究会では，今後読んでいくテキストを募集しています。面白そうな本があれば，ご紹介ください。また，個人報告も歓迎します。何か報告したいテーマをお持ちの方は，お申し出ください。

